

日本西アジア考古学会 第19回総会・大会 プログラム

6月14日(土)(第1日目)

12:30 開場

13:00-13:10 開催挨拶 西藤清秀(会長)

〔口頭発表①〕司会1名

13:10-13:35 野口 淳・千葉 史・横山 真・Q.H.マッラー・G.M.ヴィーサル・
下岡順直・N.シェイフル・近藤英夫

インダス川中・下流域～タール砂漠西部における先史時代石器群の様相
: 3D計測にもとづくコア・リダクションの検討

13:35-14:00 板橋 悠

出土骨の安定同位体比分析によるアナトリア先土器新石器集落の食性
と動物利用

14:00-14:25 長屋憲慶

エジプト先王朝時代のフリント製小型ドリルに関する実験考古学的検討

14:25-14:50 齋藤正憲

土器焼成の民族誌: 熱履歴に着目した比較検討

14:50-15:15 花坂 哲

民族考古学的アプローチによる古代エジプトの皮革技術の復元

15:15-15:30 休憩

〔口頭発表②〕司会1名

15:30-15:55 安倍雅史・新井才二

アク・ベシム遺跡出土の羊距骨とキルギス伝統遊戯チュコ

15:55-16:20 西藤清秀・中橋孝博

古代パルミラ人の復顔と葬送用彫像

16:20-16:45 堀岡晴美

MAR.TU/amurru によるディルムンへの進出

16:45-17:10 山崎やよい

シリアの文化財保護への国内外シリア市民の取り組み: APSA (The
Association for the protection of Syrian Archaeology) の活動

懇親会 17:30-19:30

鎌倉女子大学 カンティーン

6月15日(日)(第2日目)

9:30 開場

〔口頭発表③〕司会1名

10:00-10:25 竹野内恵太

エジプト先王朝時代における泥岩製品からみた流通システムの変遷

10:25-10:50 山田綾乃

エジプト古王国時代における建設労働者組織編成の変遷

10:50-11:15 南澤武蔵

エジプト新王国時代における土製シャブティ製作の様相

11:15-11:40 柏木裕之

エジプト、ルクソール西岸ウセルハト墓(TT47)の平面形式について

11:40-13:00 昼食休憩、ポスターセッション・コアタイム

13:00-14:00 日本西アジア考古学会 第17回総会

14:00-14:10 休憩

〔口頭発表④〕司会1名

14:10-14:35 有村 誠

南コーカサス後期旧石器時代の様相：グルジア、パラヴァ二遺跡の発掘

14:35-15:00 上杉彰紀

ハラッパー式土器の編年からみたインダス文明社会の展開

15:00-15:25 三木健裕・野口 淳・近藤康久

アラビア半島青銅器時代土器群の研究：オマーン北部イブリ県バート地区における2013-14年一般調査の成果から

15:25-15:35 休憩

15:35-16:00 常木麻衣

中央アナトリア、中期青銅器時代における青銅製品について

16:00-16:25 西山伸一

北レヴァント地方沿岸部にみられる鉄器時代祭祀遺構とその意義

16:25-16:50 平山 優

ウム・カイス遺跡、F16・G16グリッドにおける層位学的研究

16:50-17:00 閉会挨拶 牧野久実(実行委員長)

ポスターセッション

- P-1 西秋良宏・O.アリプジャノフ・R.スレイマノフ・仲田大人・三木健裕・新井才二
ウズベキスタンのムステリアン遺跡、アンギラク洞窟の発掘
- P-2 花坂 哲
ガーナにおける製革・鞣製工程：古代技術復元のための民族誌
- P-3 野口 淳・M.ザヒル
インダス川源流部におけるダム建設に伴う文化財水没問題
：ディアメル・バシャ・ダム水没予定地域について
- P-4 門脇誠二
南コーカサスにおける新石器時代の打製石器技術
：ハッジ・エラムハンル遺跡の事例
- P-5 足立拓朗・藤井純夫
ビシュリ山麓にける中期青銅器時代ケルン墓群の年代について
- P-6 三戸 芽
神奈川県横浜市原宿町遺跡出土「パレスチナ」銘文入り西洋磁器について
- P-7 矢澤 健
エジプト・ダハシュール北遺跡出土「ビール壺」の分類と年代
- P-8 藤井純夫・足立拓朗
PPNB文化の南進フロンティア
：ヨルダン・サウジの分布調査に基づく新たな展望
- P-9 安倍雅史・間舎裕生
シリア内戦下における被災文化遺産の現状